

2022年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任				
地歴・公民	日本史B文系	4	2年次	榊原 伸哉				
使用教科書	山川出版社 詳説日本史B 改訂版		使用副教材	第一学習社 最新日本史図表 四訂版 山川出版社 詳説日本史10分間テスト 改訂版 山川出版社 日本史用語集				
科目の目標				道徳教育のねらい				
我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				客観的かつ公正な資料に基づいて、事実の正確な理解に導くようにするとともに、多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を育成する。				
学習活動内容		市函DP						
		1 主体的 学習力	2 基礎力	3 思考・ 分析力	4 発信・ 表現力	5 自己認知 ・協働力	6 計画 実行力	
第Ⅰ部 原始・古代								
1	第1章 日本文化のあけぼの	○	○	○				
2	第2章 律令国家の形成	○	○	○				
3	第3章 貴族政治と国風文化	○	○	○				
第Ⅱ部 中世								
4	第4章 中世社会の成立	○	○	○				
5	第5章 武家社会の成長	○	○	○				
第Ⅲ部 近世								
6	第6章 幕藩体制の確立	○	○	○				
7	第7章 幕藩体制の展開	○	○	○				
8	第8章 幕藩体制の動揺	○	○	○				
9	グループワーク	◎	○	○	◎	◎		
10	課題提出	○	○	○	○		○	
11	審査		○	○			◎	
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断		技能・表現		知識・理解		
	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。		我が国の歴史の展開に関する諸資料の中から有用な情報を選択し、活用するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。		我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている		
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。							
		授業での取組	課題への取組	定期考査	提出物	その他の資料	その他	
	関心・意欲・態度	○	◎		◎	○		
	思考・判断	◎	○	○		○	○	
	技能・表現	○		○	○	○		
知識・理解	○	○	◎	○	○			

日本史B 授業計画

		授 業 計 画			実 施 状 況		
	月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4	第1章 日本文化のあけぼの (11)	<ul style="list-style-type: none"> ・人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化時代の社会を理解する ・大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて弥生文化の形成を考察する。 ・地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の内容からとらえる。 	1 文化の始まり (3) 2 農耕社会の成立 (3) 3 古墳とヤマト政権 (5)			
	5	第2章 律令国家の形成 (23)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。 ・律令国家が成立するまでの政治の動向と白鳳文化の形成過程について考察する。 	1 飛鳥の朝廷 (4) 2 律令国家への道 (7)			
	6		<ul style="list-style-type: none"> ・律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。 ・天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。 	3 平城京の時代 (6) 4 天平文化 (2)			
	7		<ul style="list-style-type: none"> ・平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 	5 平安王朝の形成 (4)			
	8	第3章 貴族政治と国風文化 (12)	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察させる。 	1 摂関政治 (3)			
	9		<ul style="list-style-type: none"> ・大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として国風文化が展開されたことを理解する。 ・律令制に基づく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。 	2 国風文化 (4) 3 地方政治の展開と武士 (5)			
			第4章 中世社会の成立 (17)	<ul style="list-style-type: none"> ・院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 	1 院政と平氏の台頭 (3)		
	後 期	10	第5章 武家社会の成長 (18)	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 ・承久の乱に伴う公武関係の変化に着目して、将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を考察する。 ・蒙古襲来による政治・経済・文化への影響が幕府の衰退に繋がっていく事を理解する。 	2 鎌倉幕府の成立 (4) 3 武士の社会 (4) 4 蒙古襲来と幕府の衰退 (3)		
				<ul style="list-style-type: none"> ・庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。 ・南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 	5 鎌倉文化 (3) 1 室町幕府の成立 (5)		
		<ul style="list-style-type: none"> ・庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 ・武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化及び大陸文化と伝統文化のかかわりについて理解する。 		2 幕府の衰退と庶民の台頭 (5) 3 室町文化 (5)			
		<ul style="list-style-type: none"> ・応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。 		4 戦国大名の登場 (3)			
11		第6章 幕藩体制の確立 (20)	<ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ・新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。 	1 織豊政権 (3) 2 桃山文化 (3)			
12			<ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。 ・幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。 	3 幕藩体制の成立 (6) 4 幕藩社会の構造 (8)			
1		第7章 幕藩体制の展開 (17)	<ul style="list-style-type: none"> ・17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 ・幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 	1 幕政の安定 (4) 2 経済の発展 (8)			
2			<ul style="list-style-type: none"> ・経済の発展と関連して町人文化が形成された事について、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。 	3 元禄文化 (5)			
3	第8章 幕藩体制の動揺 (22)		<ul style="list-style-type: none"> ・農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義とその影響を考察する。 ・江戸中期に確立した洋学や国学、新たな形で展開する文学・芸能・美術について、社会の変容に伴う幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。 ・欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を考察する。 ・化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 	1 幕政の改革 (6) 2 宝暦・天明期の文化 (4) 3 幕府の衰退と近代への道 (6) 4 化政文化 (6)			